

# やまがた 議会だより

平成28年4月

No.116

発行 〒390-1301 長野県山形村議会（代表 平沢恒雄）  
編集 議会広報編集特別委員会 TEL0263-98-3111 FAX0263-98-3078



## 鉢盛中学校入学式

■第1回議会定例会	.....2	■一般質問	.....5~7
■主な議案	.....2~4	■議会日誌	.....7
■議員研修報告	.....3	■私の一言	.....8

# 平成28年 第1回 議会定例会

## …平成28年度一般会計予算…

### 防災行政無線事業を付帯決議し可決

設計・調査に時間を要し、先送りとなっていた「防災行政無線事業」の実施設案が示され、4億9千76万円の事業予算案が計上された。

総務産業常任委員会における審査では、無線設備の認可出力が立地条件から1ワットと限定される事により、個別受信機の確実な受信を確保するために、全世帯の7割近くが「屋外アンテナ」を設置する必要があるという設計案に、個別受信機使用の利便性、並びに住宅街における景観面においても、村民の理解を得られないのではと危惧する意見が大勢を占め、住民を交えた研究議論を更に積み上げる必要性を主張し、関連予算案の修正を求めた。

その後、理事者サイドから、住民思考を充分把握

し、それを取り込んだ事業にする方向性が示され、議会も特別委員会を設置し、設計業者の皆さんと膝を交えた議論の場に臨む意向を固め、本会議では個別受信機の屋外アンテナの再検討と、住民ニーズが反映される事業となる事を付帯決議し、一般会計予算案は賛成多数で可決された。

特別委員会では、全ての世帯に緊急情報を速やかに届ける「安全・安心の村づくり」の観点から、将来に渡る貴重な財産と成り得る「防災行政無線」導入を目指し、折衝を進めたい。また、できるだけ早期に住民説明会も行ないたい。

(防災行政無線特別委員会委員長 大月民夫)

## 同意

○教育委員会教育長の任命について  
根橋範男さんに(下竹田・3年間)

(全会一致で可決)

## 条例制定・改正

○山形村道路線の廃止について

(全会一致で可決)

○山形村道路線の認定について

(全会一致で可決)

## 陳情

○軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や事後の相談のできる窓口などの設置を求める陳情  
(全会一致で可決)

○山形村行政不服審査会条例の制定について  
(全会一致で可決)

○山形村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

○山形村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

(全会一致で可決)

○行政不服審査法改正に伴う関係条例の整備に関する条例について  
(全会一致で可決)

○学校教育法改正に伴う関係条例の整備に関する条例について  
(全会一致で可決)

○山形村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例について  
(全会一致で可決)

○山形村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例について  
(全会一致で可決)

する条例について  
(全会一致で可決)

○山形村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について  
(全会一致で可決)

○職員の分限に関する条例の一部を改正する条例について  
(全会一致で可決)

○公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について  
(全会一致)

○山形村母子家庭等医療給付金条例の一部を改正する条例について  
(全会一致で可決)

○議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について  
(全会一致で可決)

○特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例について  
(全会一致で可決)

○一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について  
(全会一致で可決)

○山形村清水高原簡易水道建設改良基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例について  
(全会一致で可決)

○山形村税条例の一部を改正する条例について  
(全会一致で可決)

○山形村固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について  
(全会一致で可決)

○山形村子ども医療給付金条例の一部を改正する条例について  
(全会一致で可決)

○山形村母子家庭等医療給付金条例の一部を改正する条例について  
(全会一致で可決)

○山形村重度心身障害者

医療給付金条例の一部を改正する条例について  
(全会一致で可決)

○山形村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について  
(全会一致で可決)

○山形村保健福祉センター施設設備及び管理に関する条例の一部を改正する条例について  
(賛成多数で可決)

○山形村保健福祉センター運営委員会により審査を経て提案されたものであり、公平公正な提案だ。金額は近隣施設との均衡を取るよう配慮されている。又本条例は、生活保護世帯等、福祉に必要な方への配慮もされたものだ。

○山形村商工業振興条例の一部を改正する条例について  
(全会一致で可決)

○山形村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の一部を



改正する条例について  
(全会一致で可決)  
○山形村福祉医療費資金  
貸付基金条例を廃止す  
る条例について  
(全会一致で可決)

○山形村児童福祉施設建  
設改築基金条例を廃止  
する条例について  
(全会一致で可決)

## 補正予算

○平成27年度山形村一般  
会計補正予算  
(全会一致で可決)

○平成27年度山形村国民  
健康保険特別会計補正  
予算  
(全会一致で可決)

○平成27年度山形村後期  
高齢者医療特別会計補  
正予算  
(全会一致で可決)

○平成27年度山形村介護  
保険特別会計補正予算  
(全会一致で可決)

○平成27年度山形村清水  
高原簡易水道特別会計  
補正予算  
(全会一致で可決)

○平成27年度山形村下水  
道事業会計補正予算  
(全会一致で可決)

○平成27年度山形村水道  
事業会計補正予算  
(全会一致で可決)

## 議案34号 平成28年度山形村一般会計予算原案について

### 反対討論 西牧 一敏

先般提出された、平成28年度「山形村一般会計予算」の(款)総務費(項)総務管理費の(目)防災諸費の「防災行政無線整備事業」490,600千円の(節)「工事請負費」484,754千円に関して、反対した。

これについては、平成27年度「山形村一般会計予算」の防災行政無線整備事業の工事請負費228,960千円の予算の計上があったが、平成27年第4回山形村議会定例会において、今年度の工事着手ができないために、防災諸費の工事請負費が228,960千円減額補正されたと説明があった。平成28年度「山形村一般会計予算」の「防災行政無線整備事業」工事請負費について、484,754千円の説明が不充分であり、かつ又、平成28年度「山形村一般会計予算」の「防災行政無線整備事業」の「工事請負費」が平成27年度「山形村一般会計予算」の「防災行政無線整備事業」の「工事請負費」より255,794千円の増額の根拠が明確に示されないままである為に、原案に対して反対した。

### 賛成討論 三澤 一男

平成28年度一般会計予算は、大型事業として防災行政無線を取り入れた安心安全の施策として上程されたものであります。総務産業常任委員会審査において、内容検討を要するとし、否となった案件は防災行政無線であります。この事業は平成27年度事業として予算化し進めていくものとしていました。結果平成27年度完結することができないことからいったん12月補正予算で減額し新たに新年度に取り組むこととした内容であります。

東日本大震災からこの3月11日で5年が経過しました。あの経験を忘れず、いかに住民に正確な情報を伝達するかが行政に与えられた使命だと思えます。

この事業の起債は本年度迄であること、現在各家庭に有る有線放送の機器の老朽化等を考えた時、事業内容精査の上で遅滞なく推進することを求めるものであります。

以上申し述べ賛成討論とします。

## 議会研修報告

村議会は、議員研修の一環として、NPO地域づくり工房 傘木宏夫代表(長野大学非常勤講師)を講師に招き「市町村の財政分析」をテーマに研修を行なった。分析の目的は村の財政状況、住民の財布の使われ方の傾向(村長の政治姿勢)、国の地方財政政策の影響を知ることなどとなる。議会は毎年度9月には前年度決算の認定が行なわれ、その基礎資料は決算カード(全国市町村すべて同じ様式の表)になります。決算カードの中身を知るとは、類似団体(人口等が同規模の自治体)との比較や近隣地町村との比較、過去からの村の経年変化による推移を知ることができます。

研修を通じ、今後の課題として現状を知り、議会のみならず、職員、住民で共に情報を共有化し持続可能な財政運営の必要性を学んだ。

## ■清水高原「雨水」被害について

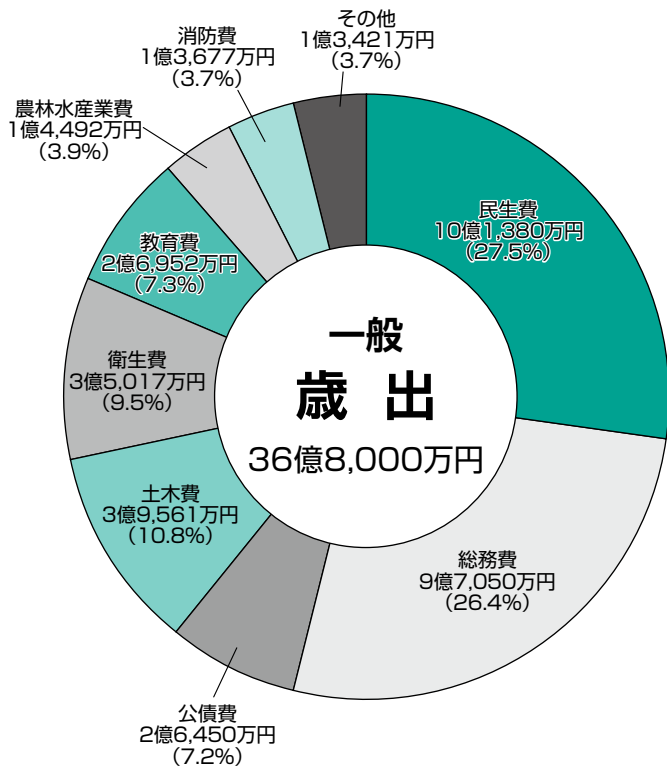
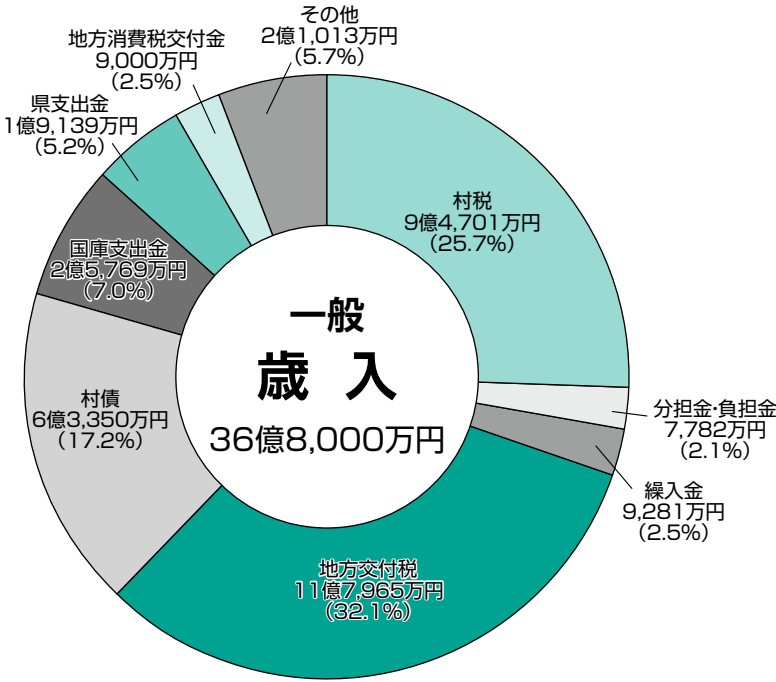
平成28年1月29日に発生した雨水による「清水高原倒木災害」の被害状況は、清水高原一帯が約40時間に渡り孤立状態になるという過去に前例の無い災害となった。倒木による停電、停電により1月30日から4日にわたる断水、別荘の給湯器の破損6件、その他浄水場のフェンスの破損、取水口までの管理道路の倒木など。そして森林・林道の被害は53haであり村の森林面積の4.1%に及ぶ。スカイランドきよみずの営業再開は、ボイラーの復旧に合わせ4月1日となっている。2ヶ月に及ぶ営業休止、キャンセルなどの損害については、指定管理者との協議の中で進める。

林道の水道取水管のための区間の復旧、危険箇所の復旧や別荘の方々の一日も早く平常の生活へ戻れる手当てなど村の支援を求めたい。



# 36億8千万円

## 28年度一般会計当初予算



### 特別会計予算規模の比較

会計名	平成28年度	平成27年度
国民健康保険特別会計	1,200,897千円	1,085,500千円
後期高齢者医療特別会計	66,842千円	66,233千円
介護保険特別会計	690,580千円	683,543千円
清水高原簡易水道特別会計	45,012千円	14,800千円
総合計	2,003,331千円	1,850,076千円

28年度  
当初予算  
総額56億8千3百3万1千円に  
特別会計を含む  
◎公営企業会計は別

平成28年度、当初予算が三月定例会で審議、このうち、新年度一般会計予算に4億9千76万円計上した、行政防  
災無線事業については、予算の執行に意見を付ける付託決議をして可決された。アベノミクスが地方に浸透してこな  
い現況の中、一般会計は、昨年対比5.5%・1億9千9百万円増となった。  
借入れの村債は前年度比39%（1億7千8百万円）増の6億3千3百50万円に増やし、28年度末の村債残高は、  
32億5千3百9万円を見込む。マイナンバーカードを利用して、各種証明書をコンビニエンスストアで取得可能と  
する「コンビニ交付システム委託料」に2千5百万円。30年までの3年計画で進める山形保育園のエアコン設置に3  
百46万円。子供の医療費無料化は、現在の「中学生」から「18歳」までに枠を広げ、前年度当初より4百万円多い2  
千6百76万円を関連経費として計上した。

### 28年度公営企業会計

下水道事業会計	収益的収入	451,000千円
	収益的支出	450,000千円
	資本的収入	80,720千円
	資本的支出	243,000千円
水道事業会計	収益的収入	213,464千円
	収益的支出	195,833千円
	資本的収入	2,020千円
	資本的支出	58,450千円

そこが聞きたい

# 一般質問

3月議会定例会は10日に一般質問が行なわれ、村政全般に亘って9人が質問した。

## 個別防災行政無線機の設置は必要か

### 山形村には必要不可欠な整備



竹野入恒夫 議員

**Q** 個別防災行政無線機設置は、村民アンケート・話し合いは必要なのか。

**A** 村長 現在、有線放送により行政情報等を村民に伝えている。社会環境の変化等もあり、集落内に設置されている屋外スピーカーは、「音がうるさい」との苦情も寄せられている。新たに集落内に数十本の屋外スピーカーを設置・運用するのは、極めて困難である。確実に村民に防災行政情報を伝え、安全、安心な暮らしを確保していくためには、個別防災行

政無線機での対応が有効であり、必要不可欠な整備と位置付けている。村民アンケート・話し合いにより、個別防災行政無線機設置の有無の判断は考えていない。

**Q** 個別防災行政無線機設置は本当に必要か、松本市のように拡声支局だけで十分対応できないか。

**A** 村長 山形村の事柄からして、拡声支局だけでは、村民の安全・安心な暮らしを確保することができない。このため、個別防災行政無線機を設置をする。山形村においては、必要不可欠な整備である。その他に、「雨氷」について、ふるさとプロデューサーについて質問した。

## ふるさとプロデューサー育成支援事業研修生からの提言について

### 長 事業として取り組む 人材を育成していきたい



籠田利男 議員

**Q** 地域ブランド品の開発、販売について。村長 村としては、事業として取り組む人材を育成し、ブランド

品の開発や販売につなげたい。

**Q** 農産物の加工施設、直売所について。

**A** 村長 山形村の自 然、景観、農作物など地域資源を核に加工、販売、観光、交流など多角的に取り組むたい。

## 赤線と私道について 村はどのように考えているのか

### 長 村民の申し出があれば、赤線の置換は可能である



西牧一敏 議員

**Q** 平成17年以降赤線は村の管理となったが、村は赤線をどのように考えているのか。

**A** 村長 公共の道路 として、活用していただきたいと考えている。しかし、村中に点在している法定外公共物は数多くあるので、除草等の管理は近隣の住民の協力で成り立っている。

**Q** 使用されていない赤線は現在どのくら

**Q** 地域コミュニティの低下について。

**A** 村長 支え合い助け合う地域づくり、個性豊かな地域づくりが行なわれるよう、コミュニティ活動の支援など、有効な支援施策を推進していきたい。

**Q** 地域おこし協力隊の導入について。

**A** 村長 地域おこし協力隊の制度は、良い制度だと思う。地域の活性化には、活動する事がいろいろある。受け入れ態勢が整うまで、導入は様子を見たい。

**Q** 農村マイスターの今後の在り方について。

**A** 村長 農村生活マイスターは県知事が認定した女性の立場から取り組む女性農業者リーダーであり、27年度は、ふるさとプロデューサーの育成事業の講師として、また「銀座NAGANO」では長芋料理披露等をお願いした。今年度は、関係者の要望をお聞きして応援し、村づくりにおいて女性の立場からの活動を支援したい。

**Q** 公共性のある私道と赤線の交換は考えていないのか。

**A** 村長 平赤線の置換は可能だと考える。ただし、赤線との交換に関わる境界の立会い、文筆、地番復帰当については、所有者が実施することになる。併せて、地元の方の同意も必要となると考える。

その他に、雨氷災害と小学校で、山形村の歴史を教えているのかについて質問した。



# 雨水災害について

長 林道復旧・森林被害調査等は  
村 雪溶け後に実施予定



小林武司 議員

**A** 村長 1月29日の  
雨水による倒木は標  
**Q** 被害状況は。

高900mから千200m位  
に集中して発生した。  
倒木による道路遮断と  
停電も起こり、簡易水道  
も断水した。清水高原一  
帯は40時間に渡り孤立状  
態となった。スカイラン  
ド清水の宿泊客など一時  
39人が極寒の中で救助を  
余儀なくされた。県のへ

リコプター出動や、多くの  
の救援協力を得て、幸い  
にも人的被害は免れた。  
深謝している。

物的損壊などの被害は  
ガードレール・カーブミ  
ラー・道路標識・水道取  
水口及び浄水場のフェン  
ス・公用車2台・清水寺  
管理棟の水道管とボイラ  
ー・スカイランド清水の  
ボイラー・別荘6棟の給  
湯器などが解っている。  
森林では唐松・赤松を  
中心に約53ha。林道は主  
要4路線だけでも約14km  
の被害状況。全体の被害

額は、はっきりしていな  
い。  
**Q** 今後の対策は。

**A** 村長 観光道路は  
3月中に復旧予定。  
休業中のスカイランド清  
水は、4月1日営業再開  
の予定。森林被害調査や  
危険箇所把握は、雪溶  
け後に目視やドローン空  
撮で行なう。林道復旧も  
雪溶けを待って作業に入  
る予定だ。

# 障害者差別解消法の対策は

村長 法の趣旨を踏まえ対応する



増澤武志 議員

**A** 障害者差別解消法が平  
成28年4月施行される。  
国民は障害を理由とする  
差別の解消に寄与するよ  
う努めるとともに国及び  
地方公共団体は、社会的

障害の除去を求められた  
時、負担が過重でない範  
囲で合理的配慮を行なう  
ことを義務付けられる。  
**Q** 村の庁舎や施設、  
道路環境等において、  
配慮が必要な力所がある  
か。

**A** 村長 トレーニン  
グセンター、ミラ・  
フード館等のトイレのパ  
リアフリー化を検討して

いる。新設道路は段差の  
ない歩道を確保したい。  
**Q** 役場庁舎は下足で  
履き換えさせているが、  
良いならば、配慮が足り  
ない。

**A** 村長 下足で良い。  
対処したい。

**Q** 保健福祉センター  
は身障者や高齢者に  
応じた段差のないバリア  
フリー建築だが、下足を  
履き替えて使用させてい  
る。選挙投票所として使  
った時、義足の老人が履  
き替えに苦労されていた  
どう考えるか。

**A** 村長 よく検討す  
る。

# 重点施策「子育て支援」の具体策は

村長 切れ目ない安心・安全の支援を行なう



大月民夫 議員

新年度に向けた施政方  
針の各種重要施策の中で  
「子育て支援策」は、人  
口減少の歯止めとしても  
期待は大きい。支援の具  
体策を伺う。  
**Q** 出産の負担軽減策  
は

**A** 村長 妊娠中の定  
期健診である、妊婦  
一般健康診査については、  
受診票を交付し、村が全  
額公費負担している。ま  
た、妊娠中の精神的・身  
体的な負担軽減策として  
「両親学級」を開催し支  
援する。必要に応じて保  
健師や助産師等が関わる  
ことができる体制を強化  
していく。

**Q** 子育て世帯向けの  
包括支援策は。

**A** 村長 福祉医療も  
一層充実させ、対象  
年齢を18歳まで拡充する。  
また、鉢盛中学生への遠

距離通学補助金、私立学  
校へ就学した生徒への補  
助金、通学への各種補助  
金も予定している。村の  
将来を担う大切な子ども  
たちを安心・安全に育て  
ていくため、今後とも切  
れ目ない支援を続けてい  
く。  
**Q** 昨年度提言した  
「多子世帯向けの保  
育料軽減策」への取り組  
みは。

**A** 村長 同時入所  
なくとも第2子は半  
額、第3子以降は無料の  
軽減策を所得制限を設け  
ず実施した場合の試算を  
しながら前向きに検討し  
ていきたい。

その他に「特殊詐欺被  
害」根絶への取り組みに  
ついて、各種対応策を議  
論する。



やまのこ保育園卒園式

# 村まち・ひと・しごと 創生総合戦略と施政方針は

村長  
総合戦略では実効性を求められている



三澤一男 議員

**Q** 人口ビジョンの策定では、村が策定した総合計画の、平成34年度目標人口9千人との差異は。

**A** 村長 総合計画と総合戦略の関係は、戦略は人口減少の克服と地方創生を目的としている。計画は自治体の総合的な振興と発展を目的とし、両者の目的や、含まれる政策は同じではない。統計数値の根拠のずれと、計画は希望的数値で、戦略は現状を、より厳しく反映した数値とした。

**Q** 産業は農業として、農業の振興を上げているがどのように考えているか。

**A** 村長 総合戦略、施政方針とも、農業の振興が基本目標だ。平

# 就学援助費支給拡充は

教育長  
生活保護基準の1.6倍にしたい



大池俊子 議員

成28年度予算では、新規事業は無いが農地流動化奨励金事業、農地中間管理事業、農村青年会議活動支援事業等計上した事業を充実させ対応させていきたい。

その他に、健康寿命延伸の施策の取り組みについて質問した。

**Q** 子どもの貧困率は平成20年14.3%、平成22年15.7%、平成24年16.3%と増え、子どもの6人に1人が貧困状態と深刻である。山形村の子どもの

**Q** 就学援助費支給対象を、生活保護基準

**Q** 今年から新潟市や特に下諏訪町などは、独自の制度「善意銀行生活つなぎ資金」をつくり、支給を3月に繰り上げ支給するが、山形村でもできないか。

# 副反応は大丈夫か 子宮頸がんワクチン

村長  
一月中旬をめどに取りまとめる



新居 禎三 議員

**Q** 子宮頸がんワクチンは公費負担で接種を受けられるようになったが、重篤な副反応が報告され接種勧奨は控えられている。村で副反応の周知など、現状はどの様

**A** 村長 現在までの副反応の報告はない。副反応の可能性などは予診票を送付する際に説明文を同封した。接種勧奨を控えてからはホームページでお知らせしている。

**Q** 接種者やご家族に副反応に対して、国の救済等十分に周知され

**Q** 接種者やご家族に副反応に対して、国の救済等十分に周知され

**Q** 接種者やご家族に副反応に対して、国の救済等十分に周知され

議会日誌	議題
7日	第1回臨時議会 (ふれあい児童館変更請負契約)
11日	山形村役場職員新年会
13日	消防出初式・分団祝賀会
15日	総務産業常任委員会 山の神祭
16日	ふるさとプロデューサー育成支援事業研修会
18日	(長も御膳のお披露目) 福祉文教常任委員会
28日	定例議会全員協議会 (障害のある人もない人もともに生きる社会を目指して)
2月	村議会議員・山形村区三役研修会
5日	(山形村の防災無線について)
15日	総務産業常任委員会 (エポック館加工室の視察) 議員研修会
18日	福祉文教委員会 (市町村財政の分析)
25日	定例議会全員協議会
3月	第1回議会定例会
3日	議会全員協議会
4日	総務産業常任委員会
7日	福祉文教常任委員会 議会一般質問
8日	第1回山形村議会定例会 閉会
10日	閉会
14日	閉会
16日	鉢盛中学校卒業式
17日	山形小学校卒業式
22日	防災行政無線特別委員会
23日	山形保育園卒業式
26日	やまの子保育園卒業式
30日	第2回臨時議会



# キャッチボール 私の一言



## 地域からの 視野で

平沢妙香

(中大池)

対外的な事業、イベント等の参加人と、目に見えての村の活動を感じる昨今です。世の中の流れや、人の考えや思いさえも、急激に変化しつつあるように感じるのは、自身の年齢もあるのでしょうか。村も、前に向かって必然と進んでいかなければならないのだと思いますが、時折、村人の気が付いていって無いのではと、感じる事項もあります。村の源となつて

いる区、常会等、地域の生活の中から、置きざりにされがちな問題もあるように思います。生活道路、除雪、自然の縁を唱う村と、管理との矛盾な

ど。地域の奮闘も、村視線と微妙なズレがあるようにも思えます。そんなものだと、自身の考えが及ばないのも現状ではありますが。真に住みごこちの良い、私達の山形村を感じる為にも、原点に回帰して、身近で生活に密着した問題に、内側からの、きめ細かな、行政運営を期待致します。



## 暮らしやすい 区をめざして

永田 晃

(小坂)

四月より小坂区長を務めさせていただきます。

今まで行政や区の運営には疎い若輩者ですが今後の二年間は皆様のご指導をいただき、区民の相互親睦、伝統尊重、区の発展、福祉向上等の区の目的に向け、区の資産や防犯灯の管理、大日堂等の維持、自主防災、環境整備や地域づくり等の活動事業を行政、区村会議

員各氏、各組織・団体と区民の皆様並びに評議員のご協力をいただき進めたいと思います。

さて以前からの区の課題である道路整備、区非加入者等々の課題に加え、新たな課題として小坂地区の人口が昨年より減少に転じたことがあります。

このようなときこそ、尚一層、「暮らしやすい区」にすることを皆様と



## 「中村太八郎」に 思うこと

平林美江子

(上大池)

山形村出身で「普通選挙運動の父」と呼ばれる中村太八郎の生涯や功績をまとめた学習冊子が、山形小学校の社会科の副読本として活用されることを先日の新聞記事で知りました。現在は20歳以上の人があたりまえにもっている選挙権は、この太八郎たちが、30年もの長い歳月をかけて手に入れたものです。また、今夏の参院選から選挙権年齢は18歳へ引き下げられました。若い人にも大切な一票を投じることで

「どんな社会にしたいの」とも考え取り組みたいと思いますのでご意見、ご指導、ご協力を宜しくお願ひ致します。

か、どんな地域にしたいのか」を考え、政治や行政に参画してほしいと思います。少し前に松本市長選挙があり、投票率は半分の50パーセントにも届きませんでした。せっかくの選挙権を大勢の方が無駄にしています。

誰もが平等に参加する権利を手に入れてくれた中村太八郎の功績を無駄にしないよう、確実に投票に行き、老若男女皆で日本一明るく元気な村をつくりあげていきたいものです。



## 旬の味

1月29日、あまり耳にすることが無かった雨水が山形村を襲った。幸い人的被害が無かったことは不幸中の幸いである。

自然界のサイクルに於いては、茂りすぎた木々の整理など淘汰の一環で、当たり前が出来事かも知れないが、ちっぽけな人間にとっては大変なことだ。私たちはいつも自然の強大な力が災害になることを意識しなければならぬ。自分の周りを振り返って、果たして大丈夫だろうか。水道・電気・ガスが止まった時の備えは充分か、大地震で家が倒壊して、道路を塞いで迷惑をかけないだろうかなど、文明にどっぷり浸って便利な生活を享受している今、考えれば考えるほど恐ろしくなる。

「白馬の軌跡」を観ていると、普段からの近所づきあいのなかで、助け合える環境を作り「共助」の力を強めることが、災害に備える重要なポイントではないのか。そうすることで、より強固な地域コミュニティが出来上がる。それには、各々が「自助努力」することが必要だと思う。

山形村住民が、みんなで考え力を合わせ、住んで良かった、「日本一、明るく元気な村づくり」を成し遂げようではありませんか。

新居 禎三